



Honda の中国現地法人である本田技研工業（中国）投資有限公司（本社：北京 総経理：井上勝史）は、2022 年 9 月 7 日現地時間 10 時（日本時間：11 時）に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

2022 年 9 月 7 日

<ご参考>

東風汽車集団・広汽集団と EV バッテリー調達を行う新合弁会社を設立 ～CATL とのパートナーシップを強化し、長期的な安定調達体制を確立～

Honda の中国現地法人である本田技研工業（中国）投資有限公司（以下、Honda）は、東風汽車集団股份有限公司（東風汽車集団）、広州汽車集団股份有限公司（広汽集団）と共同で、EV（電気自動車）用バッテリーの調達を行う合弁会社「衆銳（北京）貿易服務有限公司（HDG（Beijing）Trading Service Co., Ltd）」（以下、新会社）を 2022 年 9 月末に設立します。また、Honda と宁德时代新能源科技股份有限公司（以下、CATL）は、今後の電動化の加速を支えるバッテリー安定調達体制の確立を目指し、パートナーシップを一層強化する覚書を締結しました。これらの取り組みにより、中国における EV 用バッテリーの長期的な安定調達の実現と、さらなる競争力強化を目指します。

現在、Honda の中国における四輪車生産販売合弁会社である東風本田汽車有限公司、広汽本田汽車有限公司は、それぞれが独自に CATL からバッテリーを調達していますが、今後はバッテリー調達を新会社に一本化することで調達効率を高めます。

Honda と CATL は、2020 年に新エネルギー車用バッテリーに関する包括的戦略アライアンス契約を締結し、バッテリーの共同開発、安定供給、リサイクル・リユースといった幅広い領域を対象に協業してきました。今回の覚書締結により、両社は、現在 CATL が建設を進める宜春工場でのバッテリーの集中生産や、バッテリーリサイクルなど、生産・物流の最適化に向けた検討を行い、長期的な安定調達体制の確立とさらなる競争力強化に総合的に取り組みます。

Honda は中国において、2027 年までに EV「e:N（イーエヌ）」シリーズを 10 車種発売することを計画しています。e:N シリーズの投入に伴い、オンラインストアの本格展開やショールームの刷新、EV 工場建設など電動化の取り組みを加速しています。今回の新会社設立と、CATL とのパートナーシップ強化は、e:N シリーズ用のバッテリー調達体制を盤石なものとし、中国での電動化戦略を一層強固なものとし、Honda は今後も、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、バリューチェーン全体で電動化に取り組んでいきます。

■新会社の概要

社 名（予定）：衆銳（北京）貿易服務有限公司（HDG（Beijing）Trading Service Co., Ltd）

所 在 地：北京市

設立日（予定）：2022 年 9 月末

出 資 比 率：本田技研工業（中国）投資有限公司 50%、

東風汽車集団股份有限公司 25%、広州汽車集団股份有限公司 25%

法定代表者／董事長：井上 勝史（いのうえ かつし）